

十三地域の皆様と水辺の魅力を再発見！

～淀川河川敷の更なる魅力向上に向け、船上視察・意見交換～

十三地域では、大阪市淀川区及び地域の皆様が中心となって、淀川河川敷の更なる魅力向上・地域の賑わいづくりに向けて議論されています。このたび、議論の更なる具体化・活性化に向け、淀川及び大阪の街並みを船上から視察しました。参加者からは、淀川舟運の活用や新たなアイデアについて意見が出され、水辺の魅力を再発見しました。

また、令和7年開催予定の大阪・関西万博の際の観光客輸送を想定し、大阪市内河川～淀川間の海域を含む航路確認、河口部周辺の係留施設等の調査を行いました。

概要

○日時

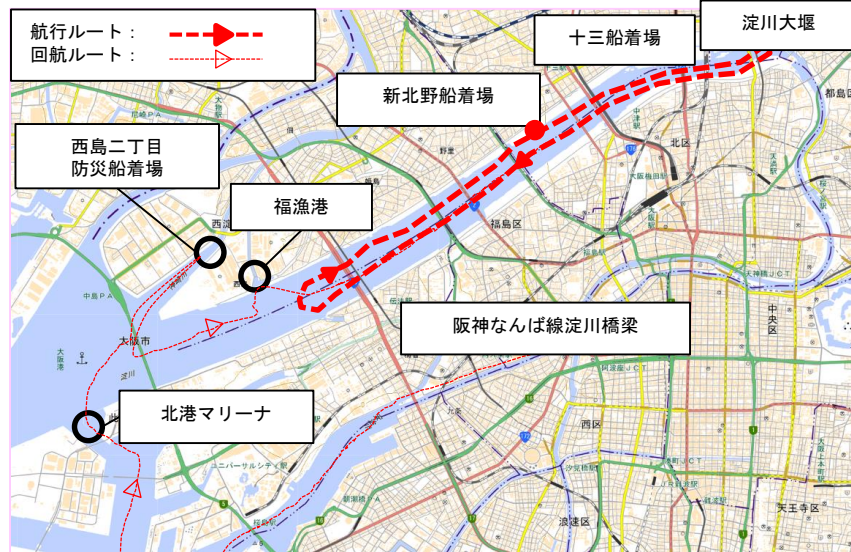
令和3年11月20日(土)

船舶回航・航路等調査:9時～12時

船上視察・意見交換会:12時～15時

○内容

- ・大阪市内河川より、淀川・新北野船着場に向け船舶を回航。その際、航路や係留施設を調査。
- ・淀川区職員及び「よどがわワイガヤ推進委員会※メンバー」、淀川河川事務所職員等、計19名が乗船し、右記ルートにて淀川の船上視察を実施。
- ※よどがわワイガヤ推進委員会とは、淀川区役所に委嘱されたメンバーからなる、十三地域・淀川区全体の活性化に向けて企画提案を行う地域住民主体の委員会です。



海域を含む航路確認・河口部周辺の係留施設調査について

- ・過年度の社会実験において、河川を航行する船が海域を航行した際、船体の大きな揺れが課題であることを確認したため、船舶回航時に海域を含む航路確認・海域を航行する船への乗換を想定した河口部周辺の係留施設調査を実施。
- ・海域の航行は河川を航行する船で行ったが、当日は晴天に恵まれ風も弱かったため、船体の揺れは軽微。
- ・海域を航行する船の拠点3箇所(北港マリーナ、西島二丁目防災船着場、福漁港)まで、河川を航行する船でアクセスできることを確認。

今回使用船舶
(ほたる 48名乗り)福漁港内進入
(西島水門通過)

西島二丁目防災船着場



十三船着場予定地付近通過



阪神なんば線橋梁通過



船内意見交換の様子

よどがわワイガヤ推進委員・淀川区役所職員の意見

- 大阪市内から新北野緊急船着場までは、もっと揺れるかと思っていましたが、天気がよかったのと風があまりなかったからか、川舟でも万博会場や舞洲、ユニバーサルスタジオまでいけるのではと思いました。
- 災害対策なども本当にご苦労を重ねて改良されていることがよく分かりました。
- 耳から得られる体験として、建造物の構造、歴史、施工中の状況、干潮/満潮の影響など説明を聞きながら船に乗れたのは大変有意義でした。
- 観光に関しては、関西万博への航路はかなりの付加価値が求められるような気がします。
- 淀川の自然について観察や体験できる船があったら楽しいだろうなと思いました。
- 水面や橋脚を使ったプロジェクションマッピングを導入ができないかと思いました。

【問い合わせ先】

大阪市淀川区役所 政策企画課
〒532-8501 大阪市淀川区十三東2-3-3
TEL 06-6308-9405

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10
TEL 072-843-2861